


---

# 北区岩淵周辺地区 かわまちラボ

— 第 2 回 —

令和 8 年 3 月 1 8 日



# 第2回かわまちラボ

## 次第

日時 令和8年3月18日（水）15時～17時

場所 荒川下流河川事務所1階 アモアホール

1. 第1回かわまちラボの振り返り
2. 第2回推進検討会での検討内容について（報告）
3. 本日の活動内容について
  - ・空間活用について（意見交換・グループワーク）
  - ・エリアの魅力発信・PRについて（意見交換）
4. 今後のスケジュール

# 1. 第1回かわまちラボの振り返り

---



# 1.1 前回の振り返り

## デザインワーク成果 (A班)

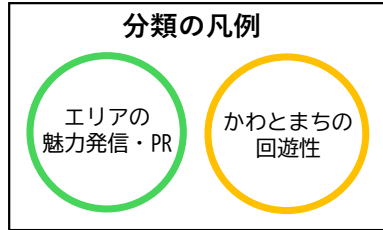
興味を持った資源・空間

河川敷
・桜並木 ・八重桜の並木道 ・中之島 大イチョウ
河川インフラ
・赤水門 ライトアップ ・新志茂橋

歴史ある建物・レトロ
・各時代の建物 ・岩の湯 ・黒田機器
宿場町の街路
・迷路のような道 ・旧町名

神社・仏閣
・大満寺 ・正光寺 ・八雲神社
地下水
・銭湯 ・造り酒屋

川とのつながり
・渡し舟 ・カッパの伝承
体験型サービス
・陶芸、書道、凧作り



※各アイデアは意見の数に応じ、円の大きさと視覚的に表現しています

不足している情報と周知のアイデア



# 1.1 前回の振り返り

## デザインワーク成果 (B班)

興味を持った資源・空間

飲食店
<ul style="list-style-type: none"> <li>炭火焼き ・ 肉専門店</li> <li>会員制の肉店</li> </ul>
子育て支援施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>ほっこり～の志茂店</li> </ul>

神社・仏閣
<ul style="list-style-type: none"> <li>除夜の鐘 (西蓮寺)</li> <li>距離のある参道 (熊野神社)</li> </ul>
防災 (いっとき時集合場所)
<ul style="list-style-type: none"> <li>志茂ゆりのき公園</li> </ul>

アート
<ul style="list-style-type: none"> <li>志茂四丁目会館 (地元漫画家によるシャッターアート)</li> </ul>
土地利用
<ul style="list-style-type: none"> <li>アパート (集合住宅) が多い</li> </ul>

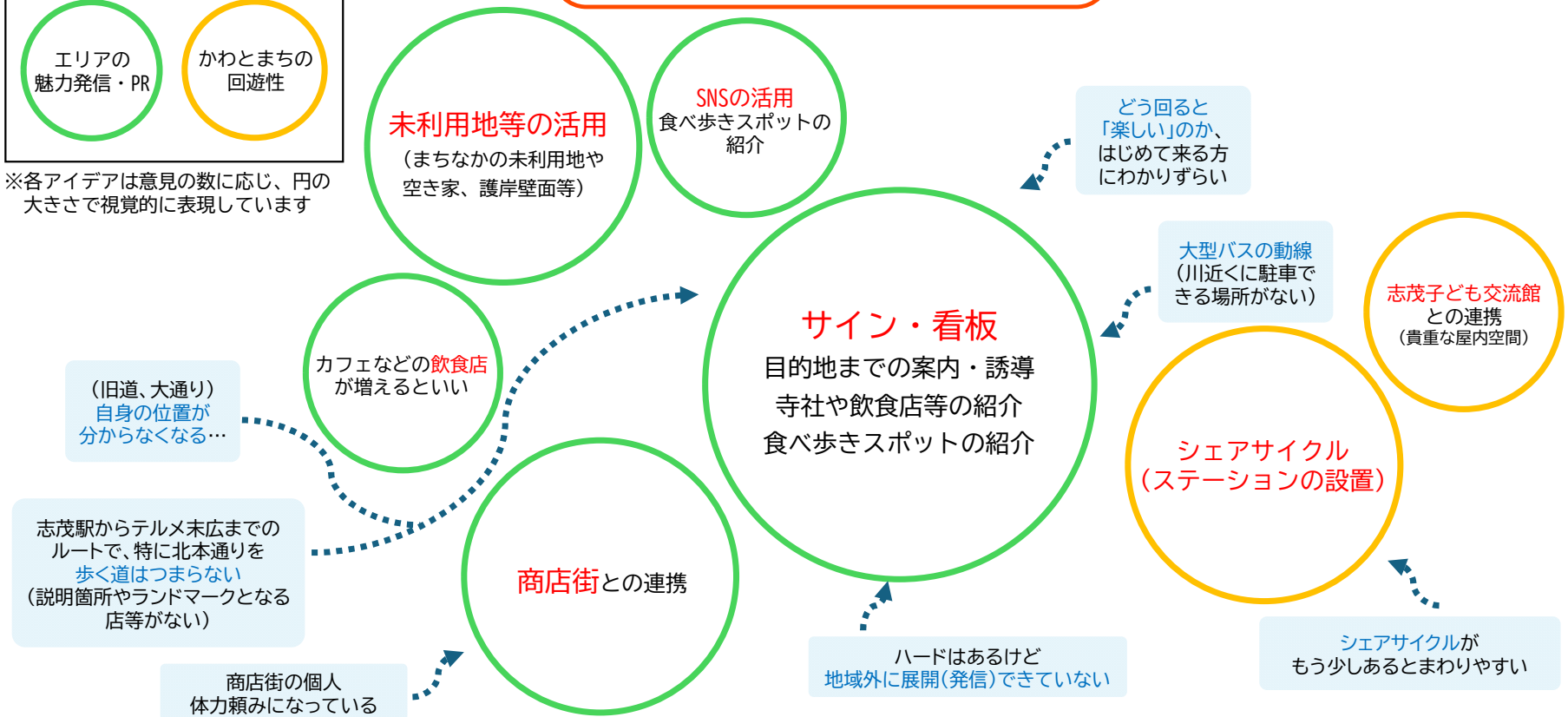
レトロ
<ul style="list-style-type: none"> <li>昔ながらの商店や精肉店</li> <li>銭湯や銭湯キャラクター協会</li> <li>テルメ未広 (看板・建築)</li> </ul>

### 分類の凡例



※各アイデアは意見の数に応じ、円の大きさを視覚的に表現しています

不足している情報と周知のアイデア

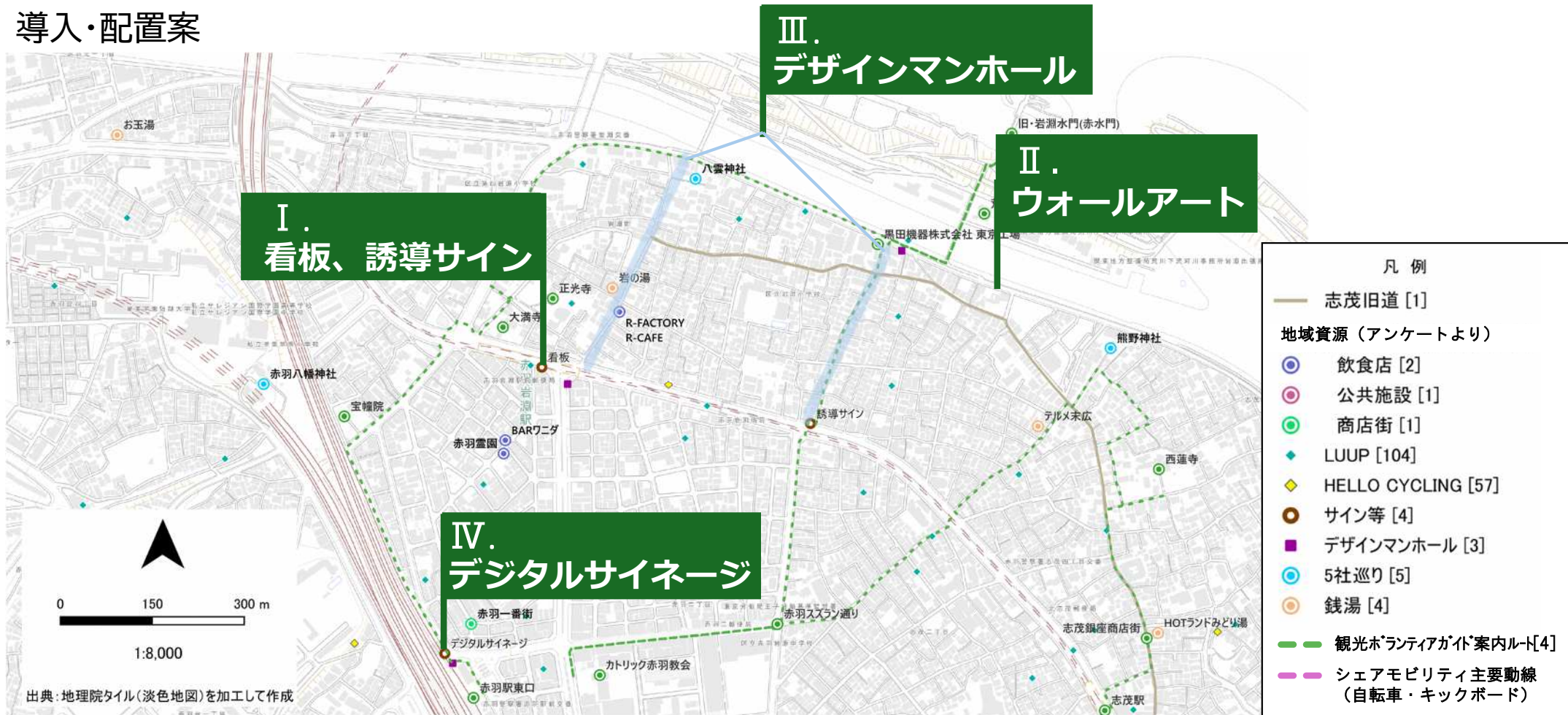


# 1.2 前回成果を踏まえた現地での誘導案内ツール

駅周辺やまちでの誘導案内ツールとして、みなさんからいただいたアイデア

看板、誘導サイン、ウォールアート、デザインマンホール、デジタルサイネージ

導入・配置案



# 1.2 前回成果を踏まえた現地での誘導案内ツール

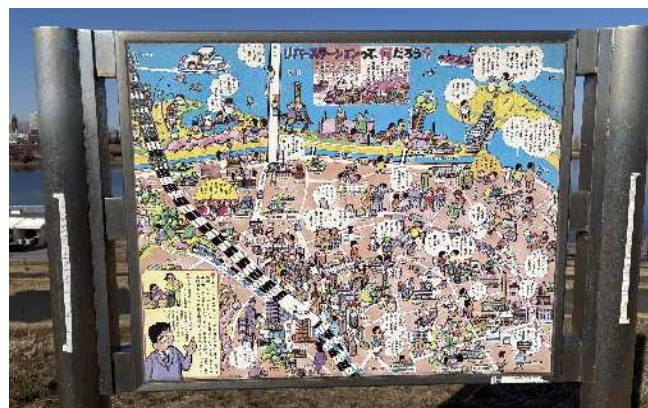
## I. 看板・誘導サイン

散策ルートやスポットの紹介など案内板としての役割だけではなく新たなPRツールとして設定



### 【想定される効果】

- ・ マガジン風や特徴的なデザインにすることで、SNSとの親和性（画像の投稿による拡散⇒広告）が期待できる
- ・ イベントなど、河川敷での活動を発信することで、さらなる活用・利用を推進できる
- ・ 防災情報（海拔●mや避難場所など）の掲示により、防災意識の向上にも役立つ



マガジン風看板



生きた情報が掲載された発行紙

まちづくりの経緯を紹介しているサイン表示



告知用掲示板



現在地がわかりやすい案内板

# 1.2 前回成果を踏まえた現地での誘導案内ツール

## II. ウォールアート

壁面をキャンバスに地域の参加者が共にアーティスト等と創作活動を行う



### 【想定される効果】

- ・ 地域の特徴を取り入れたデザインにより、地域のシンボルとして来街者促進の役割も期待できる
- ・ アートを通じた創作活動は人々のコミュニケーションを活発にし、新たなつながりが形成される
- ・ 参加者にとって特別な体験として長く記憶に残り、まちなみに個性と温かみを加え、日常の風景として地域への愛着が深まる

※壁面利用については、別途東京都と協議が必要



映画にも登場した聖地  
新宿大ガード脇の壁画

宝塚大学の卒業生と在学生在が修復



第一大久保ガード下の  
巨大壁画

アーティストによる作品



誘導サインとして

# 1.2 前回成果を踏まえた現地での誘導案内ツール

## Ⅲ. デジタルサイネージ

赤羽イノベーションサイト脇の壁面に設置されている液晶大型ディスプレイの活用



### 【想定される効果】

- ・ 河川敷の心地よさ（水温・気温）やイベント情報、生態系など「かわとまち」のリアルな動きを発信しかわに行くきっかけづくりに
- ・ 地域資源（旧岩淵水門の歴史や寺社・銭湯めぐり）の紹介をはじめ、現在（ドローン撮影動画）、未来（かわまちづくり整備）までのショート動画放映による観光PR
- ・ 交通の要所である赤羽駅でラボメンバーの活動や河川敷の活用イメージを発信することで、新たな活動の誘致やつながり作りに



赤羽イノベーションサイト脇のデジタルサイネージ

# 1.2 前回成果を踏まえた現地での誘導案内ツール

## IV. デザインマンホール

地域の特色をテーマとしたデザインによるマンホールの蓋を道しるべに活用



### 【想定される効果】

- ・ まちからかわへ、かわからまちへの誘導
- ・ 地域資源（赤水門、荒川の生態や四季など）のデザインにより新たなPRツールとなる（マンホールカード）
- ・ 地域のシンボルとして来街者促進の役割も期待できる



設置場所

- （1）北区志茂5丁目30番先 荒川知水資料館周辺
- （2）北区赤羽2丁目70番先 赤羽岩淵駅周辺
- （3）北区赤羽1丁目1番先 赤羽駅周辺

### 【荒川放水路通水100周年記念】現在の設置箇所



設置されているデザインマンホール

# 1.2 前回成果を踏まえた現地での誘導案内ツール

## IV. デザインマンホール



## 2. 第2回推進検討会での検討内容について

---

※別資料にて、ご説明します。

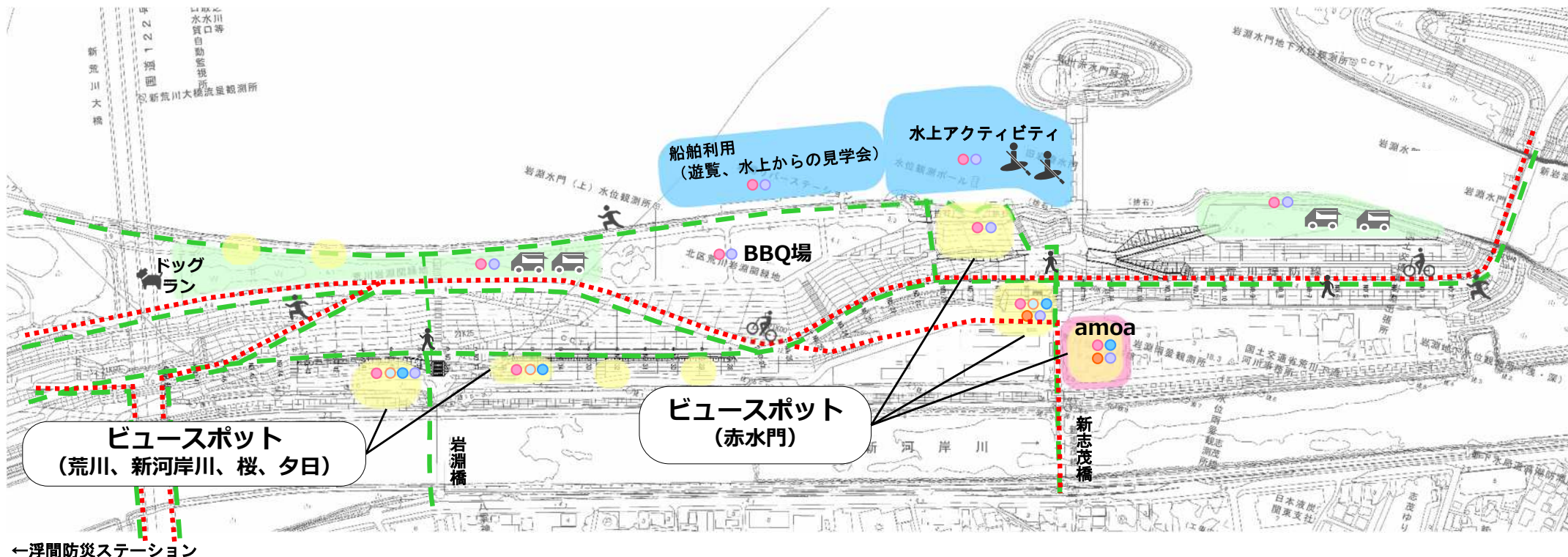
### **3. 本日の活動内容について**

---

# 3.1 空間活用について

## 河川整備による新たなスポット（活用イメージ）

※第2回推進検討会資料より引用



遊ぶ

広場整備により、イベント開催のほか様々な活用が可能に

体験

親水護岸の整備により、水上アクティビティや環境学習の場に

休む

休憩施設の整備により、滞在空間を創出し新たなビュースポットに

学ぶ

amoa 3階の改修により、活動拠点を創出し様々な交流の場に

\* 利用者の想定 ● 住民 ● ペット連れ ● ランナー ● サイクリスト ● 来街者

--- 散策 ジョギング ..... サイクリング

# 3.1 空間活用について

## 第2回推進検討会でのご意見等による検証課題

第2回北区岩淵周辺地区かわまち推進検討会 箇所別のご意見(令和8年2月4日)

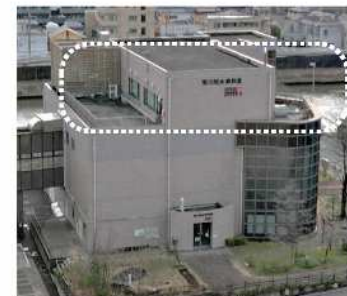


・坂路幅員は3m程度で良い。  
・スロープに挟まれた平場(下図緑枠)は花火会の観客席として重要なので、坂路拡幅後も利用できるようにしたい。

・赤水門を望む一番良い箇所のため、当該箇所も眺望を活かした整備を検討すべき。

・新たな階段や通路を整備すると、法面が手摺だらけとなり、赤水門の眺望が良い場所への移動できなくなるため、手摺がない場所があっても良い。

### 赤水門への眺望を活かした滞在空間



【荒川知水資料館3階及びテラス】  
・上流側のテラスについても日陰があると良い。テラスは2箇所とも使いたい。  
・既存の図書を活かして地域の人が歴史を学ぶ場として活用してもらいたい。  
・カフェを運営するという目標をたてて取り組むことが必要。それに合わせて、バックヤードの水回りを整備すべきだ。

### カフェ運営の可能性 テラスの滞在空間

### 浮間防災ステーション オープン化区域への追加可否



### ベンチの設置 堤防天端の滞在空間



・ベンチを設置する部分だけ盛土すればよいのではない

・花火会終了後に帰る人が滞留する場所となる。少なくともベンチは取り外しができる構造が望ましい。  
・ベンチの取り外しはむずかしいため、人の流れを分ける方法を考えてもらった方がよい。  
・警察と協議をしてから整備を検討した方がよい。  
・堤防拡幅部にキッカーが入るようにしたい。  
・現状の白いガードレールの改良。



・遊歩道の幅員は計画ほど拡幅する必要はない。

### 散策路の幅員

航空写真 出 荒川 River-SKY-view (荒川知水資料館 HP <https://www.ara-amoa.com/>)

## 3.2 空間活用にあたってのヒアリング結果①

### ◆モビリティ関連（Open street株式会社、株式会社Luup）

#### □ 検証に係る留意事項

- 河川区域内への常設ポート設置は、**出水時の撤去義務等から対応が難しい**
- 電動キックボードは、河川敷利用ルールに基づき、導入できない
- 浮間防災ステーションは、バッテリー交換時に堤防を上る必要がある
- 1次交通との接続⇔川の目的地となる場所を考慮してポートを設置するとよい
- 近隣区との連携実施も検討できるとよい。

#### □ 実施時期・設置期間

- 利用には季節要因が影響するため、理想は1年間、期間が限られる場合は暖かい時期での実施が望ましい
- 検証目的に応じた、適切な時期設定が重要
- 占用許可が取得できれば、早期（最大2週間程度）で対応可

#### □ 運営・費用等

- ポート設置費用は原則、事業者負担（無償）
- 安全講習は頻度・規模に応じて、有償対応も考えられる
- 車両貸出のみの場合は、台数・日数により有償が見込まれる

## 3.2 空間活用にあたってのヒアリング結果②

### ◆アクティビティ関連（株式会社SOTOLABO、合同会社Hand-Mock）

#### □ 検証に係る留意事項

- 単発イベントではなく、**ニーズの有無及び持続性の検証が重要**
- amoaは、集合・着替え・待機等の拠点としても有効
- 屋外シャワーは必須ではないが、あれば利便性は向上する
- 浮間防災ステーションは、防災拠点やマラソンなどの中継地点としての利用は考えられるが、**amoaとの連携にも距離がある**

#### □ 実施時期

- サウナは、春または秋に、複数日（1週間程度）での実施が望ましい。単日実施では準備負担・天候リスクが大きい

#### □ その他

- 水上アクティビティは、観光地でないエリアでの商業化が難しく、スクール形式や体験型プログラムでの実施が現実的
- 野外教育などの**新たなコンテンツになるパッケージ**（生き物学習＋安全講習＋防災教育（飯盒炊爨等））があるとよい
- 様々なテーマを組み合わせることで長時間の滞在、エリアの回遊の可能性が広がる



## 3.2 空間活用にあたってのヒアリング結果③

### ◆指定管理者（北区荒川緑地ふれあいマネジメントグループ）

#### □ 検証に係る留意事項

- amoa 3 階の改修後の活用アイデアとして、土日限定のカフェや会員制のワーキングスペースでの活用が考えられる
- 活用にあたっては、**この場所の特徴を活かす視点**も重要
- 子ども向けの図書もあるとよい
- 採算性確保の面では、**実施するコンテンツの組み合わせが重要**である

#### □ 実施時期

- ラボメンバーの活動と連携した検証も考えられる

#### □ その他

- 令和8年度は11月28日にイベント（荒川 RIVER SIDE FESTIVAL）の実施を予定

## 3.2 空間活用にあたってのヒアリング結果④

### ◆環境学習関連（公益財団法人日本生態系協会、北区・子どもの水辺協議会）

#### □ 検証に係る留意事項

- ラボメンバーの取組みと連携した、様々なテーマの組み合わせによるパッケージ化については、**川を色々な視点で見る**ことができるので協力したい
- 実施エリアとしては、**amoaから水辺まで一体的に活用**できるとよい。子どもだけでなく、大人が見守ることのできる空間も一緒に確保できるとよいが、対応人員が限られるため、調整が必要である
- 日本生態系協会としては、「放課後の居場所づくり」に取り組んでみたい。定期的な開催ができるといい

#### □ 実施時期

- 秋頃（10月）の平日の日中は見学が集中するため、それ以外であれば対応可
- イベントも土日であれば連携が可能

#### □ その他

- 北区・子どもの水辺の開園21周年記念イベントは4月18日に開催予定
- かいぼり体験は3月（小池）、10月（大池）で毎年開催している
- その他、野鳥や植物の観察会や水質調査など年間を通じて活動を実施

## 3.3 本日の活動内容について

### (1) 空間活用について（グループワーク・意見交換）

- ・ 河川空間、まちで一日を過ごすパッケージ案の作成
- ・ 第2回推進検討会でのご意見等による検証課題の整理

### (2) エリアの魅力発信・PRについて（意見交換）

# 3.4 グループワークについて

## 令和8年度かわまちラボの活動内容（案）

4月

任意参加

5月

活動③

7月

活動④

### 検証(1)

- ☑ ベンチの設置
- ☑ 堤防天端の滞在空間
- ☑ 散策路の幅員

(検証イメージ案)

- ・動線の試行(椅子の仮設)
- ・芝桜のスポット散策 等

### 検証(2)

- ☑ オープン化区域の追加可否  
(浮間防災ステーション、赤水門前緑地)
- ☑ 赤水門への眺望を活かした滞在空間

(検証イメージ案)

- ・サイクルポート設置
- ・ランニングステーションの実証実験
- ・フォトスポットの検証 等

+

パッケージの検証①

### 検証(3)

- ☑ アモア3階の活用
- ☑ 赤水門への眺望を活かした滞在空間

(検証イメージ案)

- ・カフェ運営、テラス活用の試行
- ・水上アクティビティ運用検証
- ・リバーステーション活用検証
- ・ライトアップ 等

+

パッケージの検証②

# 3.4 グループワークについて

事前ワーク：自身の活動等をもとに、対象エリアで実証実験に参画する場合の実施内容（案）を抽出・整理

《検証の視点：①新規的な取組み等による需要発掘、②持続性の検証》



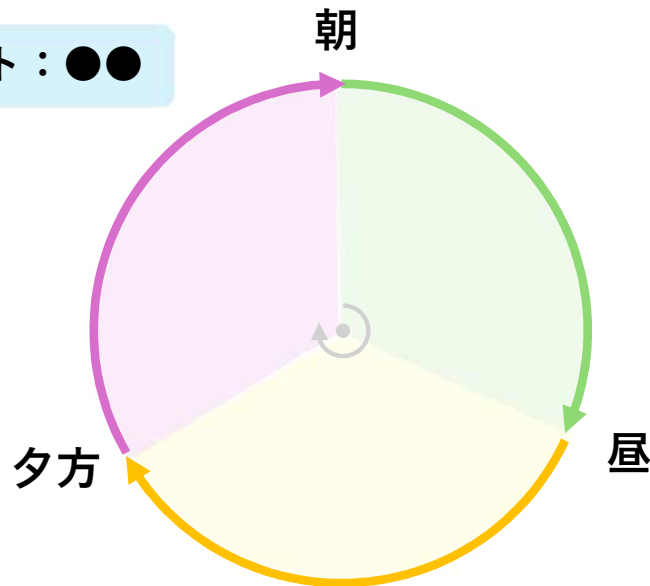
グループワーク：自身の活動等をもとに、対象エリアで実証実験における企画案について意見交換

企画の狙い（効果検証の視点を含む）実施にあたっての課題等も併せて、整理しましょう！

**パッケージ（案）を作成する！**

※：①4～5月実施の場合、②7月実施の場合

ターゲット：●●



※主な地域イベント：4/18 子どもの水辺開園式典  
11/28 指定管理者イベント

**具体的な検証内容（テーマ・活用場所）を想定する！**

対象エリア：赤水門広場ゾーン

（水上・親水護岸（岸辺）・広場・展望スペース・amoa 3階）

検証テーマ：●●



※段階的なプロセスとして、ラボメンバーのみの実地検証から検討可

## 3.4 グループワークについて

### グループワークの流れ

【5分】

1. 事前作業シートの結果を整理したコンテンツシートと、第2回推進検討会でのご意見等を踏まえた検証課題(テーマ)の整理と、ご自身の活動や事業を軸に、空間活用にあたっての検証の視点に基づいて考えられる実施内容(企画案)について、ワークシートに記載をお願いします。



【15分】

2. 記載した内容について、大判MAPに実施想定時間帯と場所に付箋を貼り付けしながら、簡単にご説明をお願いします。



【20分】

3. 班の企画案として、取りまとめるため、出された意見を基に意見交換を行います。

※本日は次回ラボでの実証実験に向けて、考えられるアイデアは全て落とし込む回となります。

## 3.4 グループワークについて

### グループワークのルール

#### <グループワークにあたって>

- ・進行がスムーズに行われるよう互いに協力しましょう。
- ・多くのことが言いたいときでも、なるべく他の人も参加できるように配慮しましょう。《対話の場です！》
- ・他の人の意見を頭から否定することはせず、いろいろな考えの人がいることを理解しましょう。

## 3.5 グループワーク成果の発表

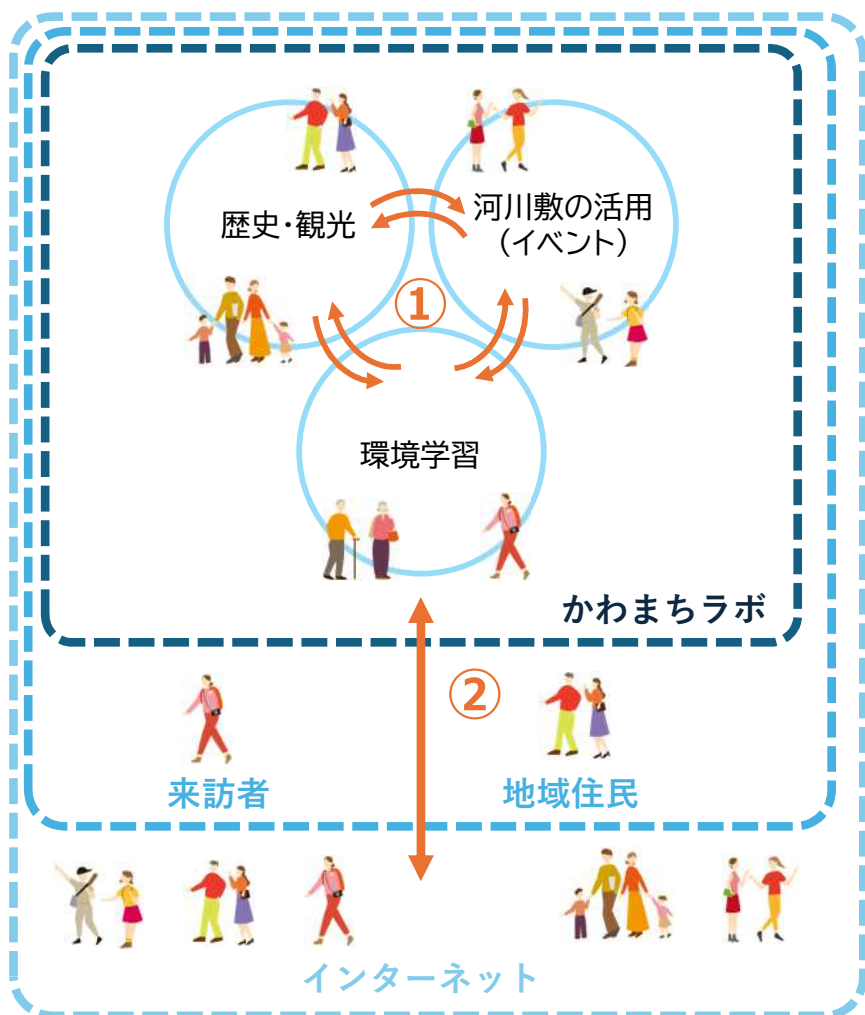
---

**各班の代表の方が、成果を発表してください！**

**【発表時間：各班5分】**

## 3.6 エリアの魅力発信・PRについて

### 活動目的(2)「エリアの魅力発信・PR」の手段・ツールについての意見交換



#### ①情報共有ツール

かわまちラボメンバーの活動やイベント情報の共有により、各活動が活発化・拡大され、相互にターゲットを共有できるプラットフォームに

例: Slack、LINEオープンチャットなど

#### ②情報発信ツール

ラボ活動や今後開催予定の社会実験案内の発信により、かわまちエリアの魅力を広報し、来訪者数やイベント時の集客の増加に

例: Instagram、noteなど

## 3.7 エリアの魅力発信・PRについて

**情報共有ツール案**：メンバー間相互でのイベント告知などのため、LINEオープンチャットの試行

### Slack

(提供元：Salesforce)

#### 概要

- 基本的な機能は無料（有料版は、履歴を無制限で閲覧・検索可能などの機能が追加）
- チームや組織内のコミュニケーションと情報共有を行うチャットツール

#### メリット

- チャンネルによる参加メンバーの管理が可能
- スレッド（チャンネル内の特定の会話をまとめたもの）で話題ごとにやり取りを分離できる
- PCでの閲覧・共有がしやすく、長文や正式情報にも向く
- 有料版では記録の長期蓄積、高度な検索、権限管理、外部サービス連携が可能

#### デメリット

- スマホ中心の利用者や、インターネットを使いこなしていない層には参加のハードルが高い
- 無料版では、履歴は90日間
- 有料版では、人数が増えるほどコストが増える

#### 利用想定

- 無料版は、活動初期の試行運用（回覧、イベント告知など）
- 有料版は、資料共有・記録など

### LINE オープンチャット

(提供元：LINEヤフー)

#### 概要

- 無料
- LINEアプリから参加（URLで参加でき、個人のLINE友だち関係と切り離して運用可能）

#### メリット

- 参加ハードルが低い
- 匿名参加可能（電話番号・友だち追加不要）
- QRコード・URLで参加が容易

#### デメリット

- 情報が時系列で流れ、記録の検索・情報蓄積に不向き
- 話題ごとの整理ができない、重要情報が雑談に埋もれる
- 外部ツール連携がほぼ不可
- 権限管理が弱く運営ルールの統制が難しい

#### 利用想定

- 回覧、イベント告知、イベント当日の連絡

## 3.7 エリアの魅力発信・PRについて

情報発信ツール案：ラボ活動の広報・集客などのため、Instagramを試行

### Instagram

(提供元：Meta Platforms)

#### 概要

- 基本的に無料
- 画像・短尺動画中心のSNS
- フォロー（投稿を見るために登録する機能）により、タイムライン（上から順に投稿が表示される画面）に表示
- ストーリーズ（24時間で消える写真や動画）やリール（最大90秒の短い動画）で即時発信も可能

#### メリット

- 利用者が多く、知らない人にも届きやすい
- 画像中心で活動の雰囲気や直感的に伝わる
- ストーリーズで当日・直前の告知が可能
- コメント・DMで気軽に問い合わせ可能

#### デメリット

- 過去の情報を探しにくい
- 体系的な活動記録になりにくい
- 詳細な日程・資料掲載には不向き
- PCでの閲覧・編集がやや不便

#### 利用想定

- イベント開催告知（ビジュアル付き）
- 当日の様子速報
- 若年層・子育て世代への周知

### note

(提供元：note株式会社)

#### 概要

- 基本的に無料
- 有料プランもあり、予約投稿・アクセス解析等が可能
- 記事投稿型の情報発信プラットフォーム
- ブログ形式で長文・画像・PDF・マガジン整理が可能

#### メリット

- 活動内容・背景などを長文で説明可能
- 記事URL単位で回覧・共有しやすい
- 過去記事が時系列で蓄積され検索しやすい
- 見出し構造により記録として使いやすい

#### デメリット

- 拡散力が弱い
- 更新頻度が低いと動きが見えにくい
- 即時性（当日連絡）に弱い
- 画像中心の軽い発信には不向き

#### 利用想定

- 年間活動報告
- 活動の目的・参加方法の説明
- 活動の実績整理

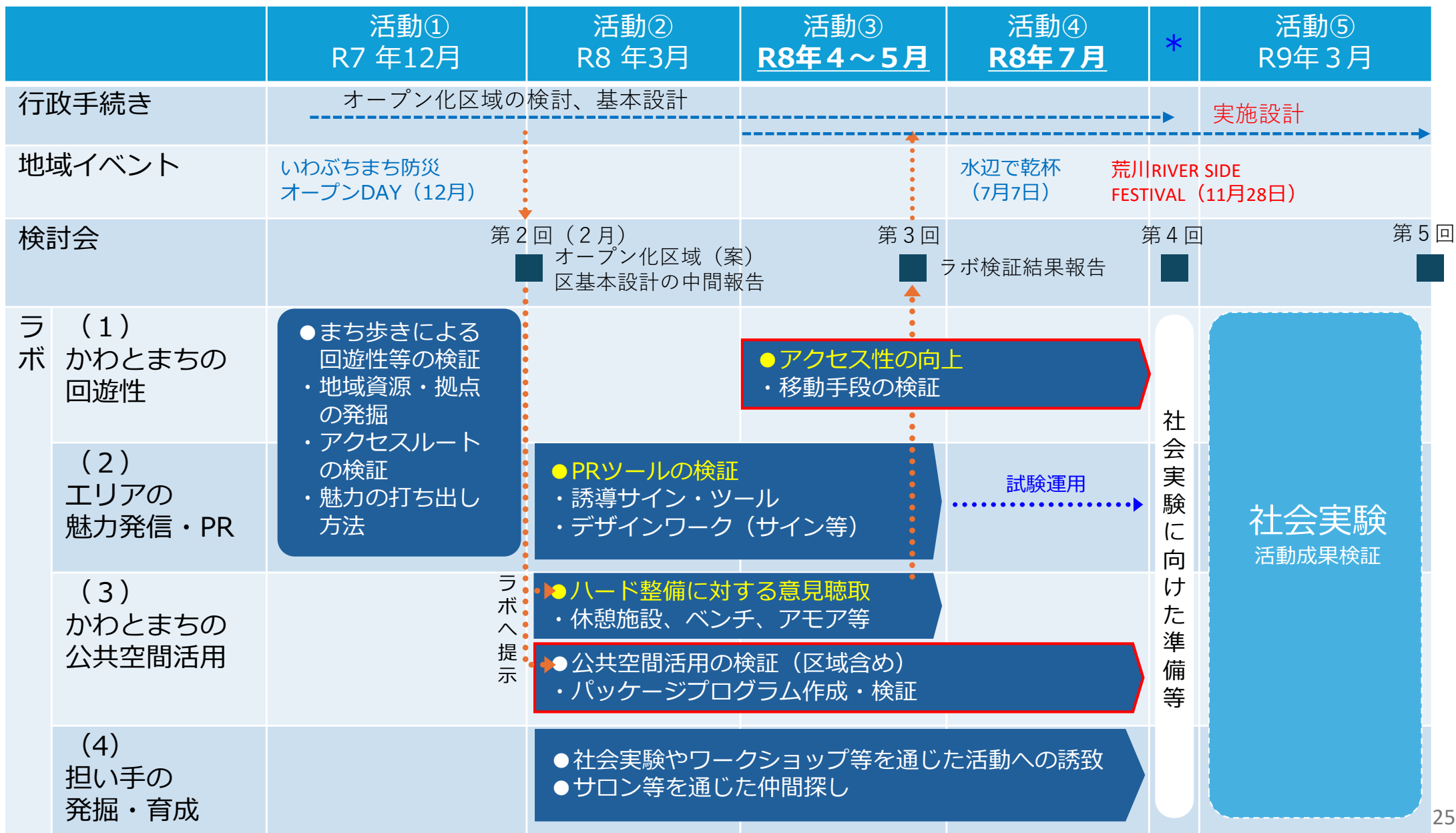
## 4. 今後のスケジュール

---

# 4.1 活動スケジュールについて

## かわまちラボの進め方：小さな検証を積み重ねる

\*以降の取組みは活動の進捗に応じ調整



## 4.2 今後のスケジュールについて

### かわまち推進検討会

● 第1回検討会 R7.9.26

- ・ラボメンバー信任
- ・今後の検討事項について

● 第2回検討会 R8.2

- ・オープン化の区域（案）
- ・基本設計中間報告

● 第3回検討会 R8.5

- ・基本設計の報告
- ・かわまちラボの中間報告

● 第4回検討会 R8.10

- ・設計・工事スケジュール等の報告
- ・オープン化の区域（承認）

● 第5回検討会 R9.5

- ・かわまちラボ活動報告
- ・運営スキームの承認

### かわまちラボ

● R7.10.27（準備会）

● 第1回 R7.12 活動① WS

- ・まち歩きによる回遊性等の検証（デザインワーク①）
- ・地域資源・拠点の発掘・PR手法の検討

● 第2回 R8.3 活動② WS

- ・ラボ実施内容の確認
- ・ハード整備／オープン化区域に対する意見交換
- ・アクセス性及び公共空間活用の検証（デザインワーク②）

● 第3回 R8.5 活動③

- 実証実験による検証①
- ・アクセスルート／回遊性の向上の検証、PRの検証
- ・公共空間活用／オープン化区域（案）の検証

● 第4回 R8.7 活動④

- その①：実証実験による検証②
- ・アクセスルート／回遊性の向上の検証、PRの検証
- ・公共空間活用／オープン化区域（案）の検証
- その②：ラボ案取りまとめ
- ・ハード整備／オープン化区域に対する意見取りまとめ
- ・デザインワーク③

● 第5回 R9.3 活動⑤ 社会実験

※WS：ワークショップ

本日！

次回